

大阪・関西万博における真夏の暑さ対策 未来の空気体験を来場される方々にお届け  
**人々が集う氷の木陰「氷のクールスポット」を設置**



「氷のクールスポット」完成イメージ図

ダイキン工業株式会社は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）における真夏の暑さ対策として、自然エネルギー<sup>\*1</sup>を利用する空調システムを搭載した休憩所「氷のクールスポット」を会場に設置します。

大阪・関西万博は、夏場を中心に開催されることから会場での暑さ対策が重要な課題とされています。ダイキンは空調総合メーカーとして、世界中から来場される方々に涼しさと安らぎを提供するために、環境に優しい自然エネルギーを利用するサステナブルな空調システムの開発を進めてきました。

氷のクールスポットは、氷や雪を貯蔵することで冷温貯蔵庫として用いられてきた昔ながらの氷室（ひむろ）から着想を得ています。氷蓄熱空調<sup>\*2</sup>の技術を応用して生成した氷の冷輻射<sup>\*3</sup>により、木陰に入ったときに感じるような涼しさを提供します。氷の生成には太陽光パネルで発電した電気を一部利用するなど、環境に配慮した仕組みを取り入れています。壁には日本古来の木組み格子を使用し、屋外にいるような雰囲気を感じることができる開放感のある構造にしています。屋根には意匠性の高い太陽光パネルを搭載し、自然と調和したデザインにしています。

氷のクールスポットは万博会場の南西部に位置する「進歩の広場」に設置します。万博に来場される方々は、会期中いつでも氷のクールスポットを利用できます。

ダイキンは「空気で答えを出す会社」として、大阪・関西万博に来場される方々に、空気の可能性や価値を体感いただくことを目指しています。万博という未来社会の実験場で太陽光や氷の冷輻射などの自然エネルギーを利用した未来の空調機開発に挑戦します。

## 【氷のクールスポットの概要】

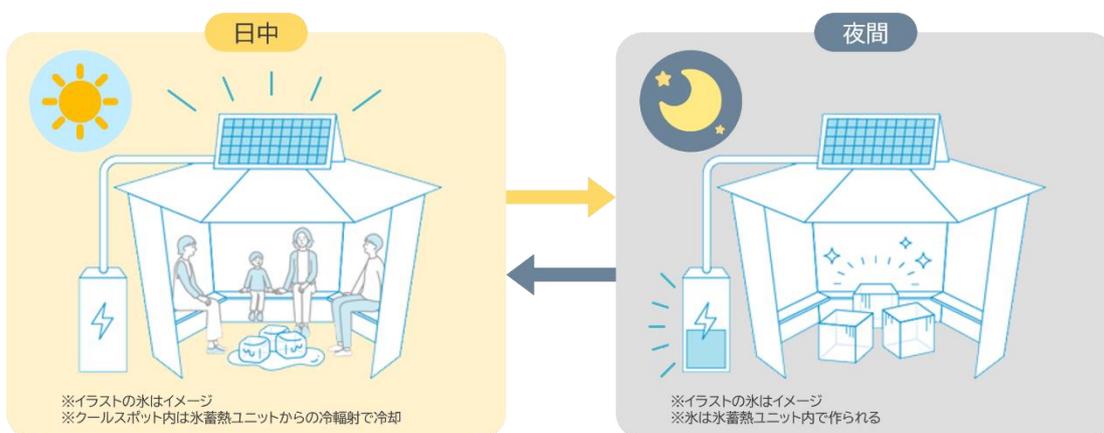
### ■自然エネルギーを活用した空調システム

氷のクールスポットはダイキンが空調機で培った氷蓄熱の技術と太陽光発電を組み合わせた環境に優しい空調システムを取り入れています。氷のクールスポット内を囲うように設置した氷パネルから冷放射が得られます。氷パネルの表面温度を3～8℃に維持することで、氷室の中にいるような心地よい涼しさを届けます。氷パネルは表面を透明なアクリル素材にすることで、間近に氷の壁を見ることができ、視覚でも涼しさを感じることができます。



氷のクールスポットに搭載する氷パネル

氷のクールスポットでは太陽光パネルにより発電した電気を一部利用します。日中に発電した電気を蓄電池に貯めておき、涼しい夜間に氷を作ります。



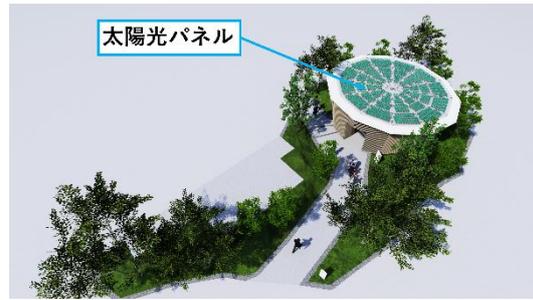
太陽光発電を利用したサステナブルな空調システム

### ■自然と調和した構造・デザイン

氷のクールスポット内部には、約30名が座れるベンチを配置しています。高さ3.3～3.7mと勾配をつけた高天井と木材を多用した内装により、安らげる空間を実現します。内壁と外壁には日本古来の木組み格子を使用することで、屋外と屋内の境目がない開放的な構造にしています。氷のクールスポットの屋根には、周囲の木々と調和した緑色の太陽光パネルを搭載しており、大阪・関西万博のシンボルとなる大屋根から見下ろした時にも、自然と溶け込んだデザインにしています。



屋外と屋内の境目がない開放的な空間



自然と調和したデザインの太陽光パネル

### ■氷のクールスポットの設置場所

氷のクールスポットは、万博会場の南西部に位置する「進歩の広場」に設置します。万博会期中はいつでも利用が可能です。



### 【氷のクールスポットの建築概要】

- ・名 称：氷のクールスポット
- ・建 設 地：大阪府大阪市此花区夢洲中一丁目
- ・施 主：ダイキン工業株式会社
- ・施 工：株式会社ダイキンアプライドシステムズ
- ・延床面積：約 70 m<sup>2</sup>
- ・構 造：木造

※1：太陽、地熱、風、潮汐流といった自然現象によって得られるエネルギーの総称

※2：夜間電力を利用して生成した氷を、空調機に活用して冷房する蓄熱空調システム

※3：温度の高い物体（人）から温度の低い物体（氷）に赤外線を介して熱が移動する現象、熱を奪われた人は冷感を得ることができる

【お問い合わせ先】 ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室  
大阪 (06) 6147-9923 / 東京 (03) 03-3520-3100 E-mail: prg@daikin.co.jp